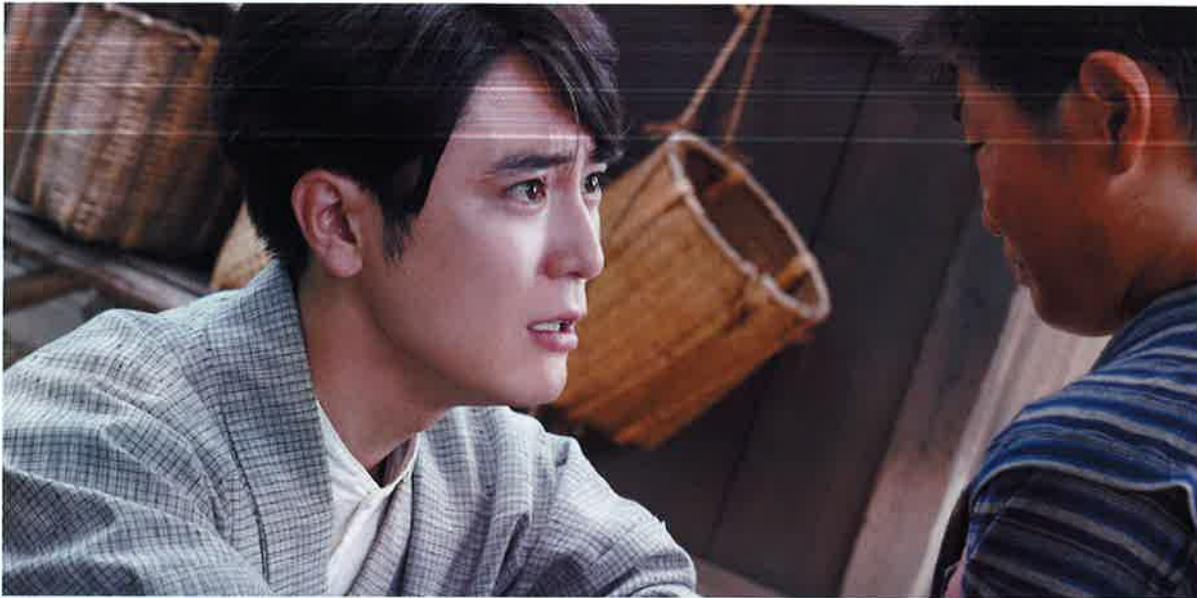


◆北河内人権啓発推進協議会

人権問題の啓発に関する事業等を積極的に推進し、北河内7市(交野・枚方・寝屋川・門真・守口・大東・四條畷)の市民の人権意識の高揚を図ることを目的に設立されました。



なぜ自分の故郷を語れない。
なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。

過去に木下恵介監督、市川崑監督と名だたる巨匠が映画化してきた島崎藤村・不朽の名作「破戒」を2022年の今年、旬なキャストで映画化。主演・丑松を務めるのは、近年、映画やドラマで多彩な活躍が目覚ましい間宮祥太郎。自らの出自に悩み続け、最後に、ある告白をする難役を気迫のこもった芝居で表現。相手役・志保を演じるのは若手女優の中でも特に演技への評価が高い石井杏奈。丑松の親友・銀之助役に、出演作のオファーが相次ぐ矢本悠馬。ほか真島秀和、高橋和也、竹中直人、本田博太郎、田中要次、石橋蓮司、大東駿介、小林綾子など名優たちが顔をそろえ、クオリティの高いドラマを作り上げている。脚本は『クライマーズ・ハイ』『孤高のメス』で数々の受賞歴を誇る加藤正人と『バトル・ロワイアルII鎮魂歌』の木田紀生が担当。監督は椎名桔平主演の映画『発熱天使』(高崎映画祭招待作品)の前田和男。

◎ 物語 ◎

瀬川丑松(間宮祥太郎)は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼はその出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性・志保(石井杏奈)との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助(矢本悠馬)の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎(真島秀和)に傾倒していく。丑松は「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立ちとうとする。

